

桐蔭学園  
中等教育学校校長

岡田直哉

# 受験生へのメッセージ



Naoya Okada

1965年生まれ。桐蔭学園中学校・高等学校を経て中央大学文学部に入学。卒業後、桐蔭学園中学校に国語科教諭として赴任。以後、高等学校男子部を中心に情熱あふれる授業を展開。学年主任、一貫教育推進部長を経て2017年4月に第4代の校長に就任。趣味は楽器の演奏と音楽鑑賞。休日に息子とキャッチボールをする時間だけは仕事を忘れられる。

「学びの本質は『好奇心』。『これ面白い！』『なんでだろ？』が学びの原点です」

目下「新しい進学校のカタチ」を目指し、様々な改革が行われている桐蔭学園中等教育学校。岡田校長は追いつきの時期にさしかかった受験生に向けて、熱いメッセージを送っている。

「みなさんには、学ぶことを楽しんでほしい。新しい中等教育学校では楽しい学びを展開していきたいと思っています。何かを学ぶということは、ガリガリ机に向かう苦行ではありません。学びを支えるのは自らの『好奇心』です。あることに関心を持つ

て、『これ面白い！』『なんでだろ？』そう感じることで学びの原点だと思えます。多くのことに好奇心を持つ子は、桐蔭の教育を通じて必ず伸びていきます」

また、岡田校長は「『大学入試があるから勉強しよう』という考え方は、勉強の意欲を維持するのに一定の効力はあるが、それ以上の強さはない」とも話す。

「自分はこう生きたい、こういう人間になりたい、この大学に行つてこの研究がしたい、という明確なビジョン

を持つている子は、やはり主体的に学ぶ力が強い。『アクティブラーニング型授業』『探究（未来への扉）』『キャリア教育』の3本柱を軸に、大学入試を突破する力というよりは、むしろ主体性・能动性・協働性を身につけた子を育てていきたい」

子どもの成長を考えた際、中高の6年間をどう過ごすかはとても大切なこと。ゆえに、岡田校長は「学校選び」の重要性にも触れる。

「色々な学校に見学に行

かれると思います。とにかく自分に合った学校を探すと、ということも心掛けてほしいと思います。

中高6年間で自分の成長のイメージを持ち、そのイメージとマッチする学校を選ぶこと、それは、『自分はこの学校で夢を実現できるだろうか』と考えること、とも言いかえられます。みなさんには大きな夢を持ってほしい、そして私が常に生徒に語りかけていることですが、『夢を語る情熱』を持ってほしい、と心から願っています」



がんばる受験生を応援★

## 入試体験会 & 入試説明会

「入試体験会」は小学校6年生対象です。  
「入試説明会」は保護者を対象に、出題のポイントや出願の方法などを説明します。  
こちらは5年生以下の参加も可能です。

11/15 (木)  
10:00 ~  
受付開始

2018年 12月 15日 (土)  
9:30 ~